



「川とともに生きるまち」

第26回 全国

# 川 サミット



in 四万十

2017.11.24 金 . 25 土

(24日金曜日は行政関係者のみ)

[会場] 新ロイヤルホテル四万十 2F

[時間] 25 土 9:00~12:10

主催

全国川サミット連絡協議会・四万十市（第26回全国川サミットin四万十実行委員会）

協賛

四万十の日実行委員会・（一社）四国クリエイト協会・四万十川改修期成同盟会・横瀬川ダム建設促進期成同盟会

後援

国土交通省四国地方整備局・高知県・四万十市教育委員会

事務局

四万十市・公益財団法人リバーフロント研究所

お問合せ

第26回全国川サミット in 四万十実行委員会事務局（四万十市環境生活課）TEL 0880-34-6126



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。

第26回 全国



# 川サミット in 四万十

「川とともに生きるまち」

入場  
無料

11.24 金  
行政関係者のみ

11.25 土 [会場] 新ロイヤルホテル四万十 2F

9:00

開会式  
(山路のコッキリコ)

9:30

事例発表  
(大木正行氏・谷吉勇太氏・川村慎也氏)

10:50

記念講演 山下慎吾氏  
『川からみる流域のすがた、これからのこと  
—ガンジス、エバーグレイズ、四万十川—』

11:50

式典



9:00

開会式

やまち  
山路のコッキリコ (オープニングセレモニー)



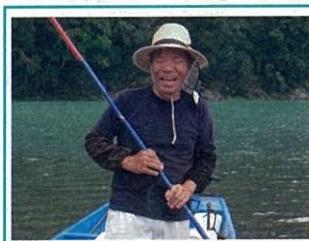
四万十市山路では秋祭りに地区の青年・児童が踊りを奉納します。奉納踊りの中にはお伊勢踊り・太刀踊りなどの演目があり、コッキリコはその演目の一つですが、昔から当地区及び周辺地域の人々は、山路の奉納踊り全体の総称として「山路のコッキリコ」と呼んでいます。



9:30

事例発表

大木 正行氏 四万十川中央漁業協同組合 副組合長



漁師としてだけでなく地域として、将来も川と関わり続けながら生きていくために、どういうことをしていくか。四万十川での鮎漁に焦点をあて、アユと人々の暮らし、アユ資源の推移と現状、近年中央漁協が取組み始めたアユの手作り産卵場整備についてお話ししいただきます。

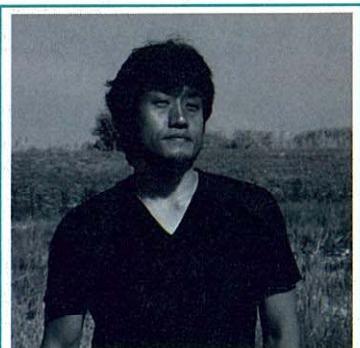


10:50

記念講演

講師 山下 慎吾氏 魚と山の空間生態研究所

「川からみる流域のすがた、  
これからのこと—ガンジス、エバーグレイズ、四万十川—」



Profile

1968年生まれ。魚と山の空間生態研究所 (Sakanayama Lab.) 代表。博士 (学術)。専門は魚類学・保全生態学・景観生態学。高知大学大学院理学研究科を修了後、東京やつくばの研究所に所属し、日本各地の流域やガンジス川などで環境保全プロジェクトに従事。河川氾濫原の生態研究により広島大学大学院にて学位取得。2006年12月念願の高知に戻り、2007年4月に個人研究所を設立。四万十川やその近隣流域でレジデン

ト型研究を進める。2007年から四万十高校などで川の授業を開始し、テナガエビ類を鍵とした実践環境学習や個体群保全研究を継続中。研究会はたのあとを立ち上げ、市町村と共に、多地域を舞台とした研究発表会を2011年2月から毎年1回開催。2013年から研究会メンバーによる小規模の川の自然再生や山の整備活用を実施。高知工科大学非常勤講師。四万十川自然再生協議会幹事。趣味は登山と養蜂。

谷吉 勇太氏 withRIVER 代表



夏は四万十川でカヌー・サップのガイド、冬は山で林業。これまでなかったようで、実は本来の田舎の暮らしの形、季節によって仕事が変わる兼業スタイル。今回は谷吉さんの生活スタイルやからの夢などについてお話ししいただきます。

川村 慎也氏 四万十市教育委員会生涯学習課 社会教育振興係長



文化的景観とはどういうことか。四万十川流域で連綿と受け継がれてきた暮らしぶりのユニークさや、重要な文化的景観に選定された理由など、四万十川とともにある文化の特性を、事例をあげてお話ししいただきます。

